

3. 中期計画

3.1 第3期中期計画（2023年度～2028年度）における2024年度計画と実績

3.1.1 2024年度計画の概略（石川県公立大学法人 2024年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

第3期中期計画(6年間)の2年目にあたる令和6年度は、中期計画の達成に向けて、3つの柱「教育の質の向上・学生支援及び学生の確保」「研究の質の向上・良好な教育研究環境の整備」「産学官連携・地域貢献の一層の推進」につながる事業、能登半島地震の被災者支援、のど復興支援に特に重点的に取り組む。

中期計画の3つの柱に関する取組み

項目	看護大	
	内容	
Ⅰ. 教育の質の向上・学生支援及び学生の確保	①教育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の入試成績や自己効力感等の調査を通じたアドミッション・ポリシーの検証 ・学内演習へのDXの導入、シミュレーション教育の強化
	②人口減少・少子高齢化の時代における優秀な学生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・夏・秋のオープンキャンパスで高校生の研究室訪問の実施 ・新たな入学者選抜方法による入学生の学修状況等の分析
	③就職・キャリア形成支援、学生満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震で被災した学生の授業料減免による学びの継続の支援 ・ティーチング・アシスタントによる学修支援 ・担任制の強化による学修等の悩みへの相談・支援 ・キャリアプラン実現のための入学時からの相談・支援
Ⅱ. 研究の質の向上・良好な教育研究環境の整備	④研究の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決につながる研究の推進 ・在宅で安心して暮らせる社会と医療従事者の負担軽減の実現に向けた産学共同研究の推進
	⑤教育研究環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教育力・研究力の強化に向けた高度で先進的な教育研究装置の整備
Ⅲ. 産学官連携・地域貢献の一層の推進	⑥地域貢献の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震の被災者の支援 ・看護職者のスキルアップ研修や、自治体と連携した健康増進活動の実施 ・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程の開講

その他の主要な取組み

項目	看護大	
	内容	
Ⅳ. グローバル化の進展	①国際交流、国際協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海外看護研修の開催 ・海外大学から看護系教員を招聘し、国際交流研修を実施
Ⅴ. 経営基盤の維持強化	②ガバナンス機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び学長のリーダーシップのもと、大学における様々な課題への対応等、戦略的かつ円滑な大学運営を推進
Ⅵ. 大学運営の改善、大学の認知度向上	③積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルしたホームページによる情報発信 ・教育研究の魅力を高校生に伝えるミニ講義動画の作成・配信

3.1.2 2024年度実績の概略

(石川県公立大学法人 2024年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程及び実施体制の充実

(1) 防災・災害教育の強化

- ・ 県の寄附講座「災害実践看護学」の令和7年度開設に向けた準備
- ・ ヒューマンヘルスケア科目に「防災士取得コース」を開設（53人取得）
- ・ 教職員の防災士資格取得を推進（45人取得）

(2) 教育のDX推進

- ・ 的確な指導と振り返りが可能な、集中治療室をリアルに再現した演習室を整備してシミュレーション教育を充実
- ・ 2年次対象の病院実習において教育用電子実習記録システムを導入

(3) グローバル化の推進

- ・ 海外看護研修を開催し、ブリガムヤング大学（アメリカ）の講義や実習に参加、令和7年度の相互訪問・受入を決定
- ・ アメリカから看護教員3名を招聘して講演会を開催

2 学生の確保

<学士課程>

- ・ 教育研究の魅力を伝える講義動画を制作、配信
- ・ 令和7年度に実施する入試から、理系科目重視から文系・理系を問わない科目構成への変更を周知

<大学院課程>

- ・ 優秀な人材を早期に確保するため、入学試験日程の前倒しや受験科目を見直し

3 学生への支援

(1) 学修支援

- ・ 担任制の強化（担任の増員（3人→5人）、4年間持ち上がり）による継続的な学修支援
- ・ 地震・豪雨の被災学生に対する授業料等の減免で、学びの継続を引き続き支援

(2) キャリアプランの実現を支援

- ・ 1年生が参加できるキャリアプランに関するセミナーを拡充
- ・ 国家試験対策として、3年生模試や4年生に模試の結果に応じて補習を実施

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

4 研究及び産学官連携、地域貢献の推進

(1) 地域の課題解決に向けた取組の推進

- ・かほく市の高齢者を対象にしたeスポーツの効果を検査・報告
- ・宝達志水町の高齢者を対象にしたフレイル(身体的機能・認知機能の低下)予防を検査・分析

(2) 産学共同研究の推進

- ・サラヤ(株)との共同研究講座「看護理工学」において、パッチを貼るだけで脱水症の早期発見や血液生化学検査データをモニタリングするシステムを開発中
- ・(株)モルテンとの共同研究講座「ウェルビーイング看護学」を開設し、在宅療養高齢者の快適な生活をサポートするAI車椅子の開発を開始

(3) 地域人材の育成

- ・大学コンソーシアム石川による人材育成プログラムにおいて、本学学生が「学都いしかわグローバル人材」の県内第1号に認定

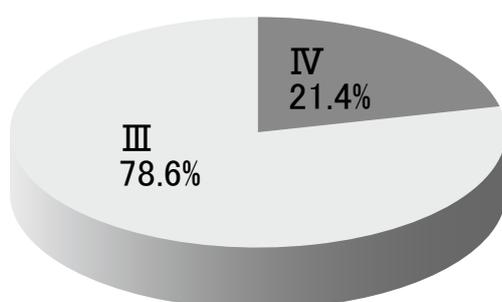
(4) 看護職員の資質向上への支援

- ・皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程の開講及び令和8年度の継続開講を決定
- ・医療機関の要請に応え、看護研究の講師として10病院に派遣
- ・専門知識の向上とスキルアップのための研修を開催

(5) 地震・豪雨被災者や地域住民への支援

- ・輪島市内の高齢者施設で褥瘡ケアを実施
- ・被災地での健康サロンや体操教室、災害ボランティア活動を実施
- ・浮腫ケア看護相談室を開設し、地域住民の健康維持をサポート

項目別評価の状況



項目	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
教育	3	16	0	0	19
研究	2	2	0	0	4
地域貢献	1	3	0	0	4
グローバル化	0	1	0	0	1
計	6	22	0	0	28

業務運営の改善・効率化に関する目標

1 ガバナンス機能の強化

- ・学長のリーダーシップを発揮できる学内運営体制とするため、将来構想委員会及び運営連絡会議を開催

2 事務組織等の整備と効率化

- ・広報業務を教務学生課に集約して一体的に情報を発信

3 両大学間連携の推進

- ・両大学の合同研究発表会、FD研修会、意見交換会を開催

4 大学の将来を見据えた教員の採用

- ・県の寄附講座「災害実践看護学」の令和7年度開設に向けて、災害専門看護師を含む3名の専任教員の登用を決定

財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金の獲得

- ・外部研究資金情報を収集し、情報提供や説明会を開催
- ・外部研究資金獲得額 181,932千円（113件）

自己点検評価及び情報提供に関する目標

1 大学への評価を活用した取り組み

- ・ 認証評価機関の所見等を踏まえ、大学院課程におけるポリシーを改定

2 大学の活動に関する情報発信

- ・ ホームページで講義動画の配信やオープンキャンパス等の情報を発信

その他業務運営に関する目標

1 良好な教育研究環境の整備

- ・ 計画に基づくトイレの洋式化や照明のLED化
- ・ 看護スキルスラボの整備や講義室のコンセント・モバイルバッテリーの増設など、DXの推進
- ・ 図書館入口ゲートや監視カメラの更新

2 全学的な安全衛生管理体制の整備

- ・ 災害時の安否確認において、大学・学生が双方向で情報伝達できるよう学内システムを改修
- ・ 情報把握の迅速化のため、教職員の安否確認方法を電話連絡網からスマートフォンやパソコンによる一斉確認に変更